

明野新能

平成十九年四月七日(土) 午後五時始

於 筑西市明野公民館・中央公園特設舞台

雨天時 同公民館内大ホール「イル・ブリランテ」

地元の子どもたちによる
小舞

七つ子

狂言
しびり

子ども狂言指導 吉住 講

狂言

棒縛

シテ(太郎冠者) 野村 万蔵

アド(主人) 山下浩一郎
小アド(次郎冠者) 野村 扇丞

後見 吉住 講
働キ 高部 恭史

能

後シテ(巴御前)
前シテ(里の女)

清水 寛一

巴

ワキ(木曾の僧) 森 常好

大鼓 大倉正之助
小鼓 幸 信吾 笛 栗林 祐輔

ワキツレ(從僧) 舘田 善博

森 常太郎

間(里の男) 吉住 講

後見 梅若 知也
加藤 泰志 古室 梅若 紀長
眞悟 地謡 長谷川 晴彦 柴田 高稔
遠田 八田 達弥 西村 高夫
修 伊藤 嘉章

働キ 青木 健一

素囃子

獅子

大鼓 大倉正之助 大鼓 金春 國和
小鼓 幸 信吾 笛 栗林 祐輔

花冷えの折、暖かい身支度で起こしてください。

明野新能 開催趣意

私たち一人ひとりが自主的な文化を築いていく時、地域の自然や歴史・伝統を活かした独創的な視野に立ち、文化の創造がはかれるよう進めていくことが大切になります。
私たちは、今、生活様式や価値観が多様化するなかで、心の豊かさを求めています。
このような中で、自主的な住民参加による明野新能開催は、地域の文化を創造していく上で、大きな意義を持つものと考えます。特に将来を担う子どもたちが、日本の伝統芸能に直接触れる体験は、日本の伝統文化・芸能に対する誇りや愛着を醸成するうえで大きな役割を果たすものと言えます。
明野新能公演は、地域住民の企画・運営・舞台制作によって開催されます。
私たちは、日本の伝統芸能である能・狂言をとおして、地域での文化の創造と、次代を担う子どもたちが舞台で演じることによって、伝統文化を肌で感じ、感動を体験することを目的とするなかで、創る感動・参加する感動・観る感動を多くの方々と共に共有できることを願って開催するものです。

平成十九年吉月

明野新能実行委員会 委員長 古田部 光文